

# 産学官連携深化ワーキンググループにおける議論の状況について

## 1. ガイドライン策定に向けた基本的な考え方

以下、日本再興戦略2016（平成28年6月2日閣議決定）より抜粋

### ① 大学・国立研究開発法人に対するガイドラインの策定

一般社団法人日本経済団体連合会が本年2月に取りまとめた提言「産学官連携による共同研究の強化に向けて」には、本格的な産学官連携の実現に向けて、産業界から見た大学や国立研究開発法人等の課題として、企画提案機能を含めた産学官連携の推進体制、知財の取扱い、営業秘密の保護、共同研究の経費負担の在り方や経費の使途の透明性の向上、相互のクロスアポイントメント制度を活用した人事交流の在り方等多岐にわたる課題が挙げられている。関係府省におけるこれまでの検討等をも踏まえつつ、産業界とも調整の上、産学官連携を円滑に推進する観点から、これらの課題に対する処方箋や考え方を取りまとめたガイドラインを関係府省が連携して本年秋までに策定する。なお、ガイドラインには産業界の取組が期待される点についても盛り込むものとする。

## 2. ガイドラインにおいて処方箋や考え方を示すべき課題と関係府省におけるこれまでの検討状況、ワーキンググループにおける議論の状況について

本格的な産学官連携の実現に向けた大学や国立研究開発法人等の課題 (日本経済団体連合会提言抜粋)	関係府省によるこれまでの検討状況 (関連報告書等)	ガイドライン目次	ワーキンググループにおける議論の状況
「本格的に共同研究」実行に向けて、速やかな対応を要する点		2. 「組織」対「組織」で連携する上で、全ての大学・国立研究開発法人に期待される機能	第1回発表 吉村委員（経団連）「新たな価値の創造に資する産学官連携に向けて」
<ul style="list-style-type: none"> <li>大学・研究開発法人の本部（産学連携本部等）における部局横断的な体制を構築し共同研究を推進する企画・マネジメント機能の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「国立大学経営力戦略」（文科省）</li> <li>「イノベーション実現に向けた大学知的資産マネジメントの在り方について」（文科省）</li> <li>「イノベーションを推進するための取組について」（経産省）</li> </ul>	2. (1) 大学・国立研究開発法人の本部機能の強化	第1回発表 田中委員（三菱ケミカル） 「本格的な共同研究の拡大に向けて～企業の現状と大学・研発法人への期待」  第2回事例紹介 中村委員（KDDI）「産学連携の大型化とスピードアップに向けて」 江村委員（NEC）「日本の競争力強化に資する産学官連携」 瀬戸委員（産総研）「産総研のオープンイノベーションへの取り組み」 松本委員（理研）「本部機能の強化に向けた理研の産業連携の取組」 三島学長（東工大）「大学改革と新たな産学連携・社会連携推進プラットフォーム」
<ul style="list-style-type: none"> <li>資金の好循環に向けた管理業務の高度化・共同研究経費の見える化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「本格的な産学連携による共同研究の拡大に向けた費用負担等の在り方について」（文科省）</li> </ul>	2. (2-1) 産学官連携における費用負担の適正化・管理業務の高度化	第1回事例紹介 木村委員（名古屋大学）「共同研究経費の「見える化」に向けた名古屋大学の取組」  第3回事例紹介 江戸川委員「共同研究等の料金積算と費用の見える化について」 木村委員「経費の『見える化』と管理業務 名古屋大学の取組」
<ul style="list-style-type: none"> <li>知の好循環に向けた知的財産マネジメントの強化</li> <li>リスクマネジメントの確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大学の成長とイノベーション創出に資する大学の知的財産マネジメントの在り方について」（文科省）</li> </ul>	2. (3-1) 知的財産の活用に向けたマネジメント強化	第1回事例紹介 渡部委員（東大） 「企業と大学の連携にみる知財と契約－機会とリスクのマネジメントの観点から－」  第2回事例紹介 正城総合企画推進部長（大阪大学）「『知の循環』を考慮した契約について」  第3回事例紹介 後藤理事（JST）「大学知財マネジメントの重要課題」  第4回事例紹介 林委員（弁護士） 「連携ビジョン実現型契約を戦略的かつ柔軟に締結するための支援ツールの提供」
	リスクマネジメント関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>「大学等における産学官連携活動の推進に伴うリスクマネジメントの在り方に関する検討の方向性について」（文科省）</li> <li>「大学における秘密情報の保護ハンドブック」（経産省）</li> </ul>	2. (3-2) リスクマネジメント強化	第1回事例紹介 飯田委員（東京医科歯科）「産学連携の推進に向けたリスクマネジメントの取組み」  第2回事例紹介 高木室長（横河電機）「本格的な産学連携に向けた秘密情報管理について」

	・「大学等における職務発明等の取扱について」(文科省)		
・人材の好循環に向けたクロスアポイントメントの拡大	クロスアポイント関係 ・「クロスアポイントメント制度」の基本的枠組と制度活用にあたっての留意点」(文科省・経産省)	2. (4-1) クロスアポイントメント制度の促進	第2回事例紹介 財満副総長(名古屋大学)「名古屋大学クロス・アポイントメント制度」  第4回事例紹介 渡部委員(東大)「大学から企業へのクロスアポイントメントを産学連携で活用するために大学と企業の連携を自律的に発展させるための施策」
研究成果の最大化に向けて、改革を要する点		3. 研究成果が一層社会で活用される上で不可欠な視点	第1回発表 吉村委員(経団連)「新たな価値の創造に資する産学官連携に向けて」(再掲)
・資金の好循環に向けた財務構造改革・財務基盤強化	・「国立大学経営力戦略」(文科省) ・「イノベーション実現に向けた大学知的資産マネジメントの在り方について」(文科省) ・「本格的な産学連携による共同研究の拡大に向けた費用負担等の在り方について」(文科省)	3. (1-1) 大学・国立研究開発法人の財務基盤の強化	第1回海外事例紹介 上山委員(CSTI)「求められる研究大学の財務構造改革：米国の経験から」
・知の好循環に向けた高度な知的資産マネジメント ・研究の「価値」に関するプロモーション	知の好循環に向けた高度な知的資産マネジメント ・「イノベーション実現に向けた大学知的資産マネジメントの在り方について」(文科省)	3. (2-1) 知的資産マネジメントの高度化	第3回事例紹介 高原委員(トヨタ)「産学官連携による拠点化～地域未来の基盤づくり」 西村副学長(三重大)「三重大における産学連携推進に向けたマネジメントの在り方」  第4回事例紹介 熊谷常務(多摩川精機)「長野県飯田地域における航空機システム開発について」 渡部委員(東大)「ベンチャー創出からベンチャーエコシステム創成へ」 吉村委員(経団連)「ベンチャー企業育成に向けた経団連の取り組み」 石山委員(早稲田大)「早稲田大学における間接的経費の戦略的活用の取組」
	研究の「価値」に関するプロモーション ・関連報告書なし	3. (2-1) 知的資産マネジメントの高度化	第3回事例紹介 世耕広報部長(近畿大学)「近畿大学の研究力 コミュニケーション戦略」
・人材の好循環に向けた研究者(教員)の人事評価制度改革	・関連報告書なし(参考文献) ・文部科学省における研究及び開発に関する評価指針 ・研究者等の業績に関する評価に関する調査・分析報告書	3. (3-1) 産学官連携が進む人事評価制度改革	第4回事例紹介 山本理事(岡山大学) 「研究者の人事評価制度改革に向けて 岡山大学における教員個人評価制度」
・産学官連携に関する「価値」の再認識	・「本格的な産学連携による共同研究の拡大に向けた費用負担等の在り方について」(文科省)	3. 研究成果が一層社会で活用される上で不可欠な視点	
その他		1. ガイドライン策定の背景とねらい  4. ガイドラインの実行による本格的な産学官連携の拡大に向けて	<b>【産学官連携による共同研究の強化に向けて】</b> 第1回発表 田中委員(三菱ケミカル) 「本格的な共同研究の拡大に向けて～企業の現状と大学・研発法人への期待」(再掲)  第2回発表 中村委員(KDDI)「産学連携の大型化とスピードアップに向けて」(再掲) 江村委員(NEC)「日本の競争力強化に資する産学官連携」(再掲)  第3回発表 セルバンテス氏(OECD) 「STRATEGIC PUBLIC/PRIVATE PARTNERSHIPS FOR INNOVATION」 高原委員(トヨタ)「産学官連携による拠点化～地域未来の基盤づくり」(再掲)  第4回発表 熊谷常務「長野県飯田地域における航空機システム開発について」(再掲)

